

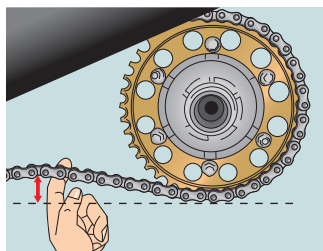
## こまめなチェック・調整は欠かさずに

### チェーン調整

タイミング ▶ たるみチェック 1回 / 月以上

目安 前後スプロケットの中間下側を指で押し上げ  
上下幅30mm程度 (オフロード車は50mm)

エンジンの動力を後輪に伝えるチェーンは、パワーや燃費に影響を及ぼす重要なパーツです。給油、たるみ調整などのメンテナンスにより、正常なコンディションを保ちましょう。



30mm程度がおおよその目安  
張りすぎもたるみすぎもダメ。

#### ● 給油は頻繁に

チェーンはマメな清掃と給油が長持ちさせるコツです。本当は乗車後に毎回清掃するのが理想的ですが、洗車のタイミングで実施するのもよいでしょう。きれいに洗った後は、グリスアップを忘れずに。

#### ● 初期伸びにご注意

新車の場合、走行距離にして500km~1,000kmほどでチェーンに「初期伸び」と言われる症状がでることがあります。この頃は新品のチェーンがなじんでいく過程で、たるみが発生しやすい状態です。こまめなチェック、調整をこころがけましょう。

チェーン  
給油 無料  
調整 940円

ミラー、レバー、  
シフトペダルの  
調整は無料で  
承ります

● 調整が必要な場合、マイツーリングパスポートをご持参の上、サービス工場フロントまでお申付けください

### タイヤの内圧チェック

タイミング ▶ 内圧チェック 1回 / 月以上

レッドバロンでは空気よりも透過しにくい窒素ガスを充填していますが、メンテナンスが不要なわけではありません。タイヤの内圧を正しく保てば、走りが安定しタイヤを長持ちさせることができます。

## なぜ窒素を使うの？

#### 窒素ガス充填のメリット

#### ● 安定した走り心地

タイヤ内の空気に含まれる酸素はゴムを通り抜けやすく内圧低下を招きます。これに対して窒素ガスの透過率は3分の1。長時間一定の内圧が保たれ、走りも安定します。

#### ● 維持費がお値打ちに

空気中の酸素や水分による、ホイールや接合部の腐食・劣化を防ぐことができます。

#### ● 燃費も向上

窒素ガスは気温差による内圧変化も少ないため、走行時の燃費もよくなります。



**N2バルブキャップは、窒素ガス充填の証。**

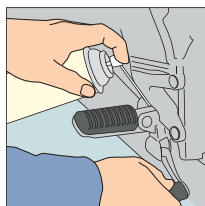
このバルブのついている会員様の車両なら、何度でも無料で窒素ガスの補充が受けられます。

※タイヤ交換時の充填は有料となります

● 窒素の充填は、マイツーリングパスポートをご持参の上、サービス工場フロントまでお申し付けください。

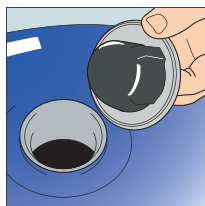
# 乗らないときも大切に

## 長期保管のポイント



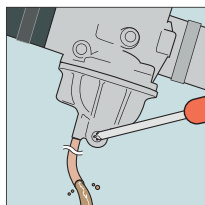
Point 1

金属面には防錆剤を塗布。  
可動部への注油も忘れずに  
※チェーンには専用のものを  
使ってください



Point 2

ガソリンを満タンにして、  
タンク内の錆を  
防止しましょう。

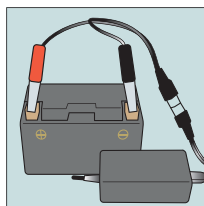


Point 3

キャブレター内のガソリンを  
抜き、つまりを防ぎましょう。  
※車種により燃料コックやドレン  
形状が異なります。  
※インジェクション車は必要ありま  
せん。また作業がむずかしい方は  
サービス工場にご相談ください。



ガソリンは引火性が非常に高く、可燃性蒸気が発生しやすい危険物  
ですので、取扱いは十分ご注意ください。抜き取ったガソリンは  
ガソリンスタンドに処分をお願いしましょう。



Point 4

バッテリーを車体から外し、  
補充電をしてから室内に保管  
しましょう。

いつでも乗れる状態を全  
自動で保つバッテリーメン  
テナ「オプティメート」を  
おすすめします。

レドバロン推奨価格 ¥12,390

### 使用方法

- ①バッテリーを一端子 → +端子の順で車体から外す
- ②オプティメートのワニ口クリップをバッテリー端子に接続  
黒クリップ→一端子 赤クリップ→+端子
- ③電源ケーブルをコンセントに接続
- ④充電開始

※バッテリーを車体から外さなくても充電できる「車両ケーブル」も付属しています。



Point 5

バイクカバーをかけ、風雨を  
防ぎましょう。

防錆、盗難防止にも効果的。レド  
バロンのオリジナルバイクカバー  
は丈夫なエステル素材で、かぶせ  
やすい立体裁断。サイズも豊富に  
取り揃えております。ぜひご利用  
ください。

## 洗車のポイント

Point 1

晴れた日よりも、  
風がない薄曇り  
の日か、真夏は特に  
日が傾いた夕方が  
最適です。

Point 2

洗車の前に車体の  
下をチェック。  
オイルのにじみや  
水漏れがあったら  
要注意。

Point 3

水をかける順序は、  
上→下、前→後 が  
基本。

Point 4

ライト類、メーター  
パネル他の電装  
部分、エンジン部、  
キャブレターには  
高圧で水をかけて  
はいけません。

Point 5

仕上げには錆落とし、ワックス掛け、  
チェーンのグリス  
アップを行い、オー  
トバイを劣化から  
守りましょう。